



平成24年11月8日

各位

会社名 株式会社昭和真空
 代表者の役職名 代表取締役社長 小俣 邦正
 コード番号 6384
 問い合わせ先 取締役経営管理部長 田中 彰一
 電話番号 042-764-0385

平成25年3月期第2四半期累計期間業績予想数値と実績値の差異及び 通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成24年10月17日に公表しました平成25年3月期第2四半期累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）の業績予想数値と実績値の差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、平成24年5月11日に公表した通期業績予想を修正いたしましたので併せて下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成25年3月期第2四半期累計期間連結業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,594	48	37	34	5.58
今回実績 (B)	3,643	38	25	30	4.88
増減額 (B-A)	49	△9	△11	△4	—
増減率 (%)	1.4	△20.0	△30.4	△12.6	—
(ご参考) 前期第2四半期実績	3,380	△11	△42	△22	△3.60

2. 平成25年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,678	24	23	3.87
今回実績 (B)	3,678	14	22	3.60
増減額 (B-A)	—	△9	△1	—
増減率 (%)	0.0	△37.7	△7.0	—
(ご参考) 前期第2四半期実績	3,309	△60	△21	△3.53

差異の理由

(1) 連結

売上に関しては、連結子会社との決算日が異なることから生じる取引の差異について連結調整をおこなった結果、前回予想比49百万円増加し36億43百万円となりました。

利益面では、前回発表時に比べて、主に工事損失引当金繰入実績が最終的に想定を上回ったことなどにより営業利益及び経常利益は減益となりました。四半期純利益も前回発表時に比べると減益となったものの、所得を確保したことによる税効果のプラス影響がありました。

その結果、営業利益は前回予想比9百万円減の38百万円、経常利益は同11百万円減の25百万円、四半期純利益は同4百万円減の30百万円となりました。

(2) 個別

売上に関しましては、前回発表時との差異はありませんでした。

利益面では、連結同様の理由により差異が生じております。

その結果、経常利益は前回予想比9百万円減の14百万円、四半期純利益は同1百万円減の22百万円となりました。

3. 平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,282	173	184	166	27.02
今回修正予想 (B)	8,257	92	81	91	14.85
増減額 (B-A)	△1,024	△80	△102	△75	—
増減率 (%)	△11.0	△46.6	△55.6	△45.1	—
(ご参考) 前期実績	7,086	△355	△389	△1,539	△249.98

4. 平成25年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,017	124	116	18.91
今回修正予想 (B)	8,175	29	38	6.30
増減額 (B-A)	△842	△95	△77	—
増減率 (%)	△9.3	△76.6	△66.7	—
(ご参考) 前期実績	6,892	△427	△1,566	△254.33

修正の理由

(1) 平成25年3月期通期連結業績予想の変更理由

通期の連結業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績進捗等を踏まえ、見通しを勘案した結果、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益を下方修正いたします。

売上に関しては、上期における当社グループを取り巻く業界各社の増産設備投資に対する姿勢が依然として慎重であり、海外を中心に積極的な拡販に努めたものの状況は厳しく第2四半期累計期間では計画を下回りました。この結果、売上高は前回発表比10億24百万円減少し82億57百万円を予想しております。

損益につきましては、売上高の減少により粗利の減少が予想されます。また、現在受注済み案件の中には利益率の低い案件も複数含まれており、当社グループ一丸となってコストダウンを推進するとともに固定費削減を継続してまいります。前回発表の利益確保は厳しい状況となりました。

以上を勘案した結果、営業利益は前回予想比80百万円減の92百万円、経常利益は同1億2百万円減の81百万円、当期純利益は75百万円減の91百万円となる見込みであります。

(2) 平成25年3月期通期個別業績予想の変更理由

通期の個別業績予想につきましては(1)の連結と同様の状況により、売上高は前回予想比8億42百万円減の81億75百万円、経常利益は同95百万円減の29百万円、四半期純利益は同77百万円減の38百万円となる見込みであります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上